

【C 南島原市-深江エリア Minamishimabara City-Fukae Area】



深江エリアの麦畑から

南島原市-深江エリアでは、“東面～南東面の雲仙岳”が眺望できます。小中学校の校歌には雲仙岳が登場し、地域で古くから親しまれてきたことが分かります。雲仙岳の山岳信仰が盛んであった往時をしのばせるものとして、温泉神社の分社(田中神社)が現存しています。

山並みとしては、高岩山～平成新山～眉山の並びで多くの山々が見えますが、深江エリア内に山頂がある山として、野岳と岩床山、ボタン山があります(↓)。野岳は、南島原市の最高峰で、海と陸とのパノラマ展望が楽しめる仁田峠展望所は、野岳の“肩”に当たる場所です。岩床山・ボタン山は野岳の手前に連なる低い山で、麓から見上げると雲仙岳主峰群(妙見岳・普賢岳・平成新山)が妊婦さんのように見えると言われますが、岩床山は“妊婦さんの枕”に相当します。水無川沿いの大野木場(おおのこば)からは、ボタン山・岩床山を經由して仁田峠(野岳)に至る登山道があり、かつての山岳信仰を体感できるトレイルとなっています。

江戸時代初期の“島原・天草一揆”の際には、当時の深江村が一揆軍と島原藩軍の最初の戦場となり、村民の約9割が一揆に参加したとされています。

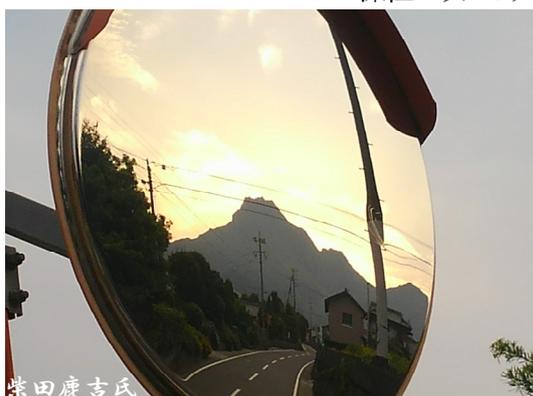
普賢岳の平成噴火(1990～1995年)の際には、普賢岳から火砕流・土石流が流れて来て大きな被害が発生しましたが、旧大野木場小学校や道の駅ふかえでは、当時の被害状況や火山活動のパワーを知ることができます。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、深江エリアを旅してみませんか？

●深江エリアの観光情報はこちら ⇒ 南島原ひまわり観光協会 <http://himawari-kankou.jp/>



深江エリアのタバコ畑から(南東から)



深江エリア内のカーブミラーから



火砕流で被災した旧大野木場小から